

# 完成図作成要領

## I 総 則

工事完成後、その工事の完成図を作成して事務の整備を計り、あわせて建造物の管理に資する為に要領を定める。

## II 内 容

完成図は、工事完成調書及び完成図面とし別記様式一1、様式一2による。

- (1) 工事完成調書……………様式1
- (2) 完成図面……………様式2
  - 1) 平面図（一般平面図、実測平面図）
  - 2) 縦断面図
  - 3) 横断面図
  - 4) 構造図
  - 5) 構造詳細図
  - 6) 用地丈量図

## III 適 用

本要領は直轄工事に適用する。なお完成図が必要か否かについては特記仕様書によるものとする。

## IV 作 成 要 領

完成図は、次の各号に掲げる事項に留意し作成しなければならない。

- (1) 完成図面は設計書添付図面全葉及びその他（展開図等）とするが、作成に当たっては設計図面（変更図を含む）展開図等がそのまま利用出来るものはトレース図を作成せず、設計図面の青焼図を使用し修正の必要のある場合（横断面図等）は設計図面の青焼図を修正して作成することが出来る。ただし作成した完成図面が著しく見にくい場合、引継の必要がある場合、または監督員の指示があった場合には新たにトレース図を作成する。
- (2) 完成図面の修正は現地における完成状況が設計図面、設計寸法と著しく相違がある場合について行ない実際の出来形、出来形寸法により修正する。
- (3) 完成図面の大きさ配置方法、折たたみについては設計図面に準じ作成する。
- (4) 工事完成調書の数量は最約設計書の数量を計上する。
- (5) ステージ工法の場合は最終段階を記入する。

## V 記 入 要 領

工事の種類、内容等を考慮のうえ、的確な表現をはからなければならない。

## 完成図作成要領

### (1) 工事完成調書

(記入例参照 様式-1)

### (2) 完成図面のうち、平面図、縦横断面図、構造図、構造詳細図については記入の方法、単位は設計図記入と同じ要領による。

展開図等については出来形管理図、等の資料を利用する。

(記入例参照 様式-2)

VI マイクロ撮影に当ってはトレース図または青焼図を使用する。

## VII 提出部数

### (1) 完成図面 (青焼図)

工事完成調書 各1部 (新たにトレース図を作成した場合はトレース図を含む。)

### (2) マイクロフィルム1部 マイクロ引伸フィルムベースB4版1部

B-4版青焼図1部

## VIII 保管

保管は当該工事を所掌する事務所長とする。

工事完成調書

様式-1 (B-5版)

工 事 名	昭和〇〇年度〇〇〇〇〇〇〇〇工事						
工 事 施 行 箇 所	自〇〇県〇〇市〇〇〇〇〇〇村〇〇〇〇地先 至〇〇県〇〇市〇〇〇〇〇〇村〇〇〇〇地先						
河川 路線	自 ~ 至						
工 事 内 容	完 成 数 量	築立〇〇〇m <sup>2</sup>	堀削〇〇〇m <sup>2</sup>	護岸〇〇〇m <sup>2</sup>	水制〇〇〇m	盛土〇〇〇m <sup>2</sup> コンクリート擁壁〇〇〇m 塗装面積〇〇〇m <sup>2</sup>	
	構 造 規 格	中員(全市、車道、歩道、路肩等) 最大屈曲半径、最小屈曲半径、最急縦断勾配					
工 期	着 手 年 月 日	完 成 年 月 日	完 了 告 示 年 月 日	昭 和 年 月 日	引 継 年 月 日	昭 和 年 月 日	
子 算 科 目	契 約 目	目 的 細 分				事 業 名	
		契 約 金 額		契 約 月 日		施 工 業 者 名 及 現 場 代 理 人 名	
		〇 〇 〇 〇 千 円	昭 和 〇 〇 年 〇 〇 月 〇 〇 日		KK 〇 〇 〇 〇 組		
		〇 〇 〇 〇 千 円	昭 和 〇 〇 年 〇 〇 月 〇 〇 日		〇 〇 〇 〇 〇 〇		
担 当 事 務 所 長 名	〇 〇 工 事 〇 〇 〇 〇 〇 〇	〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	出 張 所 又 は 監 督 官		〇 〇 出 張 所 又 は 監 督 官		
及 び 事 務 所 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	主 任 監 督 官		〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇		
施 工			説 明				

完成図作成要領

様式一2 完成図面

① 完成図面標題

1) 変更設計図を利用した場合（青焼図標題の上部附近余白に記入）

完 成 図						55
完成年月日		昭和 年 月 日				
施工者		KK ○ ○ 組				
総括 監督員	氏名	主任 監督員	氏名	監督員	氏名	
90						

2) 新規に完成図を作成する場合

完 成 図						120
完成年月日		昭和 年 月 日				
施工者		KK ○ ○ 組				
昭和 年度		工事				
図 種	(其の )					
縮 尺	1 /					
図 画 番 号	全 業 の 内					
総括 監督員	氏名	主任 監督員	氏名	監督員	氏名	
工事々務所						
90						

② 完成図面の出来形修正範囲及び寸法修正範囲

出来形修正の範囲

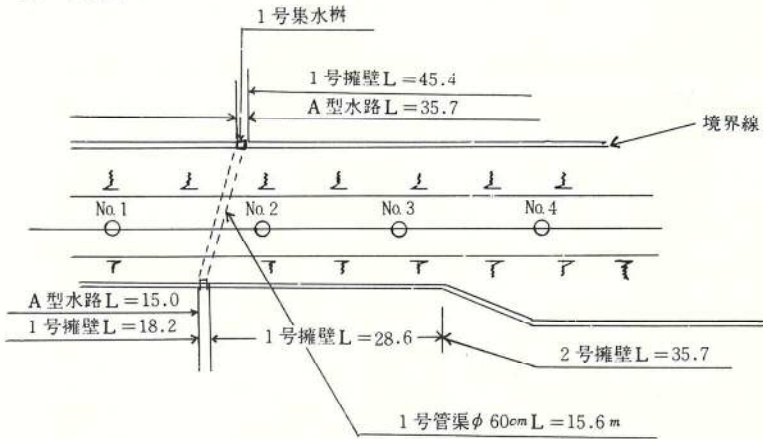
著しい相違のある場合（土木横断面図で図上5mm以上）は図面を修正し、その他の場合は設計図の通りとする。

寸法修正の範囲

完成寸法が規格値の範囲内（片側規格の場合はその絶対値を反対側にとり規格の範囲とみなす）であれば設計寸法を記入し範囲外の時は実寸法を記入する。

③ 完成図面

1. 平面図

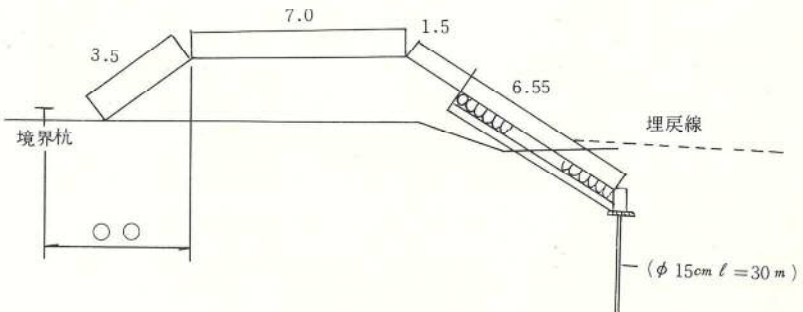


平面図について

- 注1. 新規にトレース図を作成する。但し築堤工事等で簡易な修正の場合は設計図を利用してよい。
- 注2. 設計で1号擁壁が39.6mを計上されていたが施工された延長が45.41mであれば45.4mを記入。
- 注3. コンターラインが記入された図でも良い。

2. 横断図

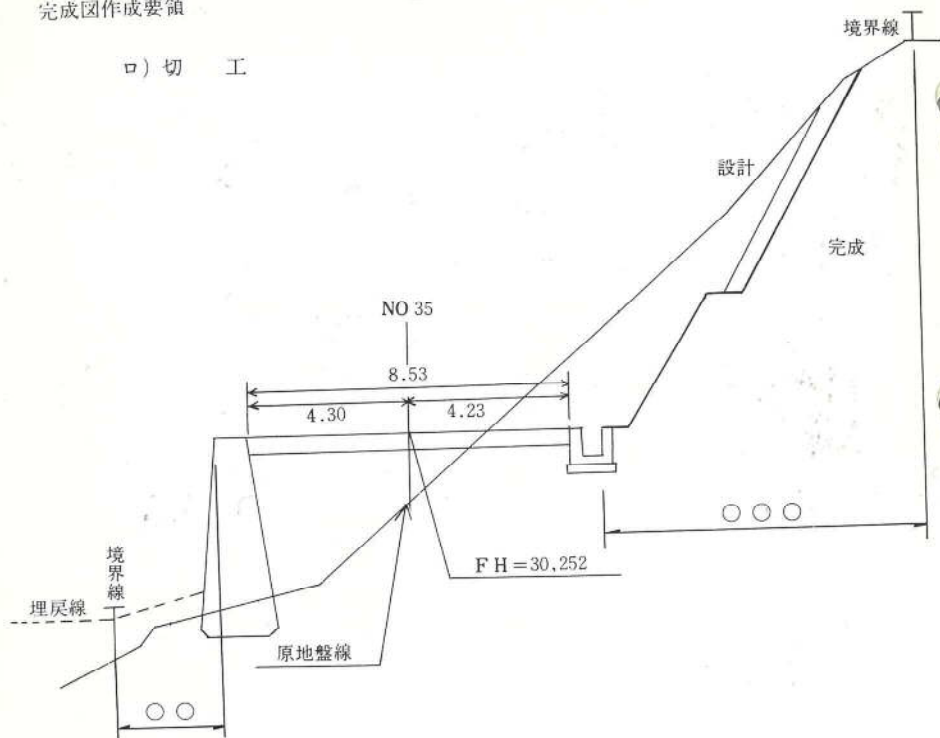
1) 盛土



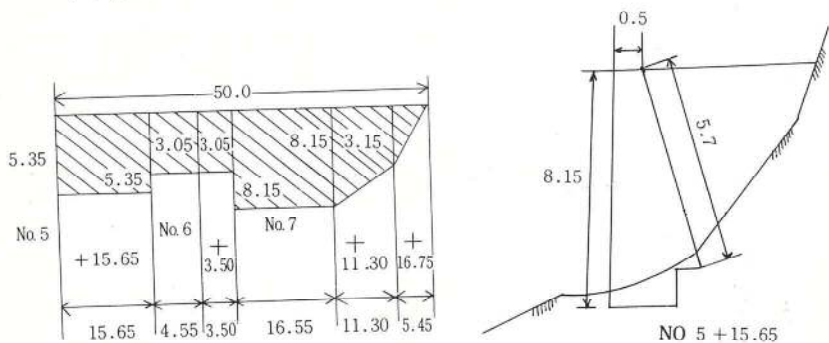
- 注1. 設計でφ12cmでもφ15cmで施工された場合φ15cmを記入

完成図作成要領

ロ) 切 工



ハ) 中間断面



注1. 展開図（設計変更資料等）を利用して作成

二) 構造図

構造図については最終変更図面の要領とする。

但し配筋を変更したものに著しく変わったものについては新たにトレース図を作成する。

